

研究資金に関する情報公開について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2017年4月25日）

2017年2月8日付の毎日新聞で京都大学と大阪大学に米軍の研究資金が提供されていることが報道されました。

京都大学では2008年から2016年までに4件で総額2070万円の米軍資金の提供を受けていました（2月9日付朝日新聞）。

この問題について資金提供を受けた教員のみならず、研究室の学生もその影響を受けることとなります。

しかし京都大学のウェブサイトなどを調べても何の説明もありません。

大学と軍事研究の問題に関する議論においては、軍事機関からの資金提供は民生用の目的が何といわれようと軍事利用される可能性があることがしばしば警告されます。

そこで以下の要望・質問です。

- 1、今回報道された4件について、米軍資金が提供された経緯・研究内容・その成果の利用について情報公開してほしい。
- 2、なぜ今年2月に報道されてから今に至るまで京都大学として何も説明していないのか、説明してほしい。
- 3、「軍からの研究費の援助を受けることは、その成果が戦争に利用される危険があるので、好ましくない」という1967年の部局長会議決定が、2016年4月12日に再確認されましたが（2016年7月1日付京大新聞）、なぜこの決定は今まで忘れられていたのか教えてほしい。
- 4、また附随的になりますが、2016年5月2日付産経新聞で報道された、原子炉実験所准教授が北朝鮮の資金提供（確実に軍事研究と関係するでしょう）を受けていたことについて情報公開してほしい。

【回答】（回答日：2017年5月18日）

（研究推進部 研究推進課）

Q1. 今回報道された4件について、米軍資金が提供された経緯・研究内容・その成果利用について情報公開してほしい。

A1. 米軍関連機関が行っている研究提案募集に本学教員が応募し採択されたため、本学内の所定の審査・手続きを経て、研究資金として受け入れられたものです。ご質問の報道において4件とされているものについて、本学で確認しているのは2件の研究課題（それぞれ2カ年）です。

それぞれの研究内容はヒューマン・ロボット・コミュニケーションに関する研究およびプラズマ・メタマテリアルに関する研究であり、研究成果に関しては、全て学会発表や論文として公表された研究成果に基づき、米軍関連機関に報告することになっていると聞いています。

Q2. なぜ今年2月に報道されてから今に至るまで京都大学として何も説明していないのか、説明してほしい。

A2. 学内の所定の審査・手続きを経て研究資金として受け入れられたものについて、大学として説明をすることはありません。

Q3. 「軍からの研究費の援助を受けることは、その成果が戦争に利用される危険があるので、好ましくない」という1967年の部局長会議決定が、2016年4月12日に再確認されましたが(2016年7月1日付京大新聞)、なぜこの決定は今まで忘れられていたのか教えてください。

A3. 昭和42年の部局長会議の申合せを踏まえた議論を必要とするような状況がなかったと考えています。

Q4. また附随的になりますが、2016年5月2日付産経新聞で報道された、原子炉実験所准教授が北朝鮮の資金提供(確実に軍事研究と関係するでしょう)を受けていたことについて情報公開してほしい。

A4. 本学の教員が北朝鮮から研究資金を受けていた事実は確認されていません。